# 大沼あゆみ 研究会

一 環境経済学 一

### 1. 研究分野

この研究会では、二年間を通じて、経済理論を もとにして、さまざまな環境問題を分析してい きます。ちなみに、私の研究のテーマは、「持 続可能な発展」と「生物多様性保全」について です。一般的な枠組みの中での議論を中心に前 者の研究をしてきましたが、最近では、後者の 生物多様性の持続可能な保全システムにも強 い関心を持ち、マレーシアの熱帯林など、さま ざまな事例も研究しています。

研究会でとるアプローチの手法は、上記の経済理論に基づくものです。上滑りしない、しかも論理的で説得力のある議論は、経済理論をベースにしたものがもっともパワフルなものだと強く思います。

ゼミ生には、二年間の総仕上げとして、質の高い卒論を提出することを目標に勉強してもらいます。各自の関心に沿った環境問題に自由に取り組んで欲しいと思います。また、フィールドワークなども積極的に行うことを望んでいます。しかし、評価・結論や政策提言など、各自の意見に関わる部分に至る考察には、皆さんが経済学部で学ぶ経済理論がちゃんと根付いていることが求められます。

### 2. 学生への要望

入会を希望する学生は、ミクロ経済学とマクロ経済学をしっかりと学んでおくこと。それと並行して、環境問題の現状に目を注ぎ、環境経済学に対する明確なモチベーションを有していること。オリジナルな意見を積極的に述べる学生、三田では勉強に打ち込んでみよう、と思っている学生を歓迎します。

今日の経済でニーズの高い「有用な知識」を得ることはもちろん大切ですが、社会のニーズに沿った有用な知識は、容易に陳腐化しやすいものです。また、知識はインターネットでますます容易に得られるようになりました。その一方で、ディシプリンに基づく論理思考力は、陳腐化することなく、現実のさまざまな現象を解明する力を与えてくれます。社会で長期的に役立つものは、実はこのような論理思考力と、およびそれに基づいて、自分で見つけた問題を脳みそに汗をかくようにして考えた経験ではないでしょうか。一見地味で、しかも短期間で獲得するのは容易ではないこのような思考力を、ゼミの場を生かして着実に積み上げていってください。

## 3. 選考について:募集人員 15-20名

### 筆記試験

①基礎的なミクロ経済学の試験(持ち込み不可。 50分程度)

②面接:教授面接および学生面接を行います。

③<u>事前レポート</u>:内容及び締切は、12 月中に ゼミのウェブでアナウンスする。

以上をもとに、総合的に判断する。

### ゼミ員構成

3年生 19名(男 14名、女 5名)(留学中 2名) 4年生 15名(男 12名、女 3名)

#### 4. 活動内容

① 本ゼミ (水曜 4・5 限)

環境経済学に関する教科書(英語)の 指定された範囲を読んで、その内容に ついて解説を行う教科書発表と、環境 問題に関する新聞記事を取り上げてそ の問題に対する政策などを自分たちで 考える教科書発表が毎週行われます。

- ② サブゼミ (金曜 4・5 限) 6 月までは、授業とは別のテキストを 用いて、授業よりも少なめの分量で発 表を行い、それ以降は 12 月にあるイン ゼミに向けて各班で話し合いを行って います、
- ③ パートゼミなし
- ④ インゼミ 12月上旬に早稲田大学と上智大学の環 境経済学のゼミと合同で発表を行いま す。
- ⑤ 課外活動ソフトボール大会など
- ⑥ 三田祭 三田論発表を行います。インゼミ論文 を発表します。
- ⑦ 合宿 5月の新歓合宿と9月の夏合宿があります。新歓合宿ではゼミ生の親睦を深め、夏合宿では、3年生はインゼミ論文の途中経過を、4年生は卒業論文の途中経過を発表し、先生やほかのゼミ生からアドバイスをもらいます。
- ⑧ 夏休み ゼミ全体としての活動は特にありませ んが、夏合宿でのインゼミ論文中間発 表に向けて、各グループで研究を進め ます。
- ⑨ 授業 教授が担当している授業がゼミ必修です。
- ⑩ 経費2000円 その他合宿費、飲み会代など
- 5. ゼミ試験対策で使用した参考書

特にありませんが、秋学期のミクロの 授業で使ったレジュメなどを見直す といいと思います。

- 6. 先生が担当している講義 環境経済論 (三田、水曜日春12限)
- 経済と環境(日吉、水曜日秋1限)
  7. ゼミ HP
  http://seminar.econ.keio.ac.jp/onuma/

(公式 HP) @onumazemi2015 (公式 twitter)

8. 連絡先 外ゼミ代表 山本舜 連絡先 wasabisko@gmail.com 内ゼミ代表 長谷川景子 連絡先 kate.hsgw@gmail.com

入ゼミ担当 奥本慶士郎 連絡先 <u>rugby-kei460@softbank.ne.jp</u> 諸伏貴裕

連絡先 morosan1212@gmail.com